

報道機関 各位

一般財団法人とうほう地域総合研究所
理事長 阿部 隆彦

「平成29年の福島県内景気見通し」 ～県内の企業経営者へのアンケート調査結果について～

当研究所では、平成29年を迎えるにあたり、毎年恒例の「福島県内景気見通しアンケート」を11月に福島県内各地の主要企業の皆さまにお願いし、68社からご回答を得ました。

今般、アンケート結果についてとりまとめましたので、お知らせいたします。

なお、詳細は当研究所機関誌「福島の進路」2017年1月号（平成29年1月4日発行）及び当研究所ホームページに掲載致します（掲載予定日：1月4日）。

記

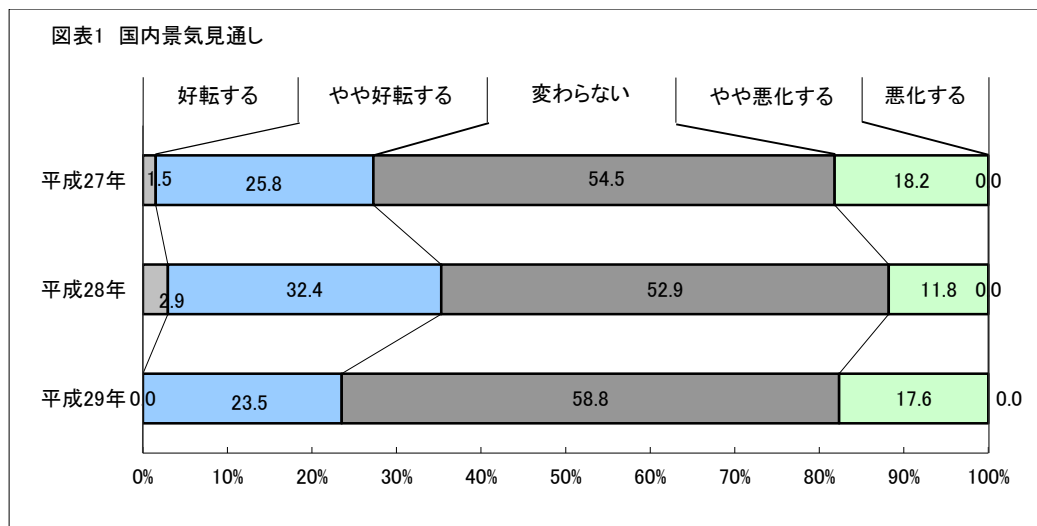
1. 国内景気見通し

Q. 平成29年の「国内景気」について、平成28年と比べてどのように判断しますか？

～好転する予想が減少、悪化する予想が増加～

	平成27年	平成28年 (a)	平成29年 (b)	前年比増減 (b)-(a)
好転・やや好転	27.3%	35.3%	23.5%	△11.8 ㊦
変わらない	54.5%	52.9%	58.8%	5.9 ㊦
やや悪化・悪化	18.2%	11.8%	17.6%	5.9 ㊦

※小数点以下は四捨五入のため、前年比増減が合致しない場合、下記図表と一致しない場合あり(次ページも同じ)



「好転する」「やや好転する」との意見が減少する一方、「悪化する」「やや悪化する」との意見が増加しており、全体として景気が悪化すると感じている企業が増加している。

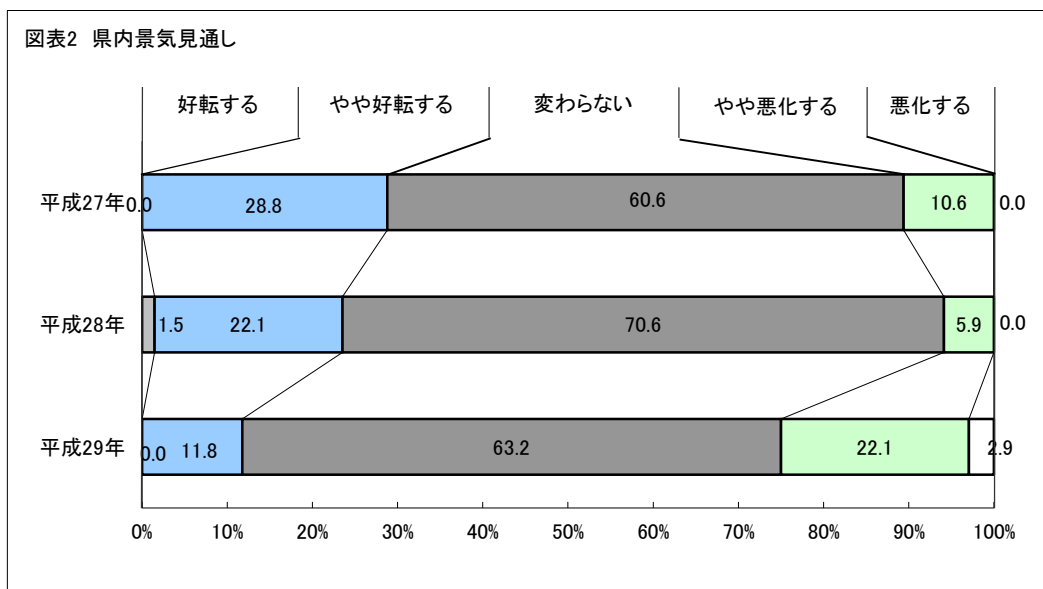
推移をみると、「好転する・やや好転する」とした回答は平成27年の27.3%から28年は35.3%と増加したが、29年は23.5%と再び減少に転じた。一方、「変わらない」との回答は27年の54.5%から28年に52.9%と微減、29年は58.8%と増加、「やや悪化する・悪化する」との回答も27年の18.2%から28年は11.8%と微減、29年は17.6%と微増する結果となった。なお「好転する」は平成27年及び28年は若干ながらあったが、29年は0件であった（図表1）。

2. 県内景気見通し

Q. 平成29年の「県内景気」について、平成28年と比べてどのように判断しますか？

～「悪化する」が大幅増加～

	平成27年	平成28年 (a)	平成29年 (b)	前年比増減 (b)-(a)
好転・やや好転	28.8%	23.5%	11.8%	△11.8 ㊦
変わらない	60.6%	70.6%	63.2%	△7.4 ㊦
やや悪化・悪化	10.6%	5.9%	25.0%	19.1 ㊦



「県内景気」においては、「好転する」「やや好転する」及び「変わらない」とする意見が減少、「悪化する」「やや悪化する」とする意見が大幅に増加した。「好転する・やや好転する」とする回答が平成28年の23.5%から29年は11.8%と減少、特に「好転する」とする回答は28年が1.5%と少数ながら存在したものの、29年は0件であった。

一方、「やや悪化する・悪化する」とする回答は、28年の5.9%から29年は25.0%と大幅に増加した。「変わらない」とする回答は、28年の70.6%から29年は63.2%と前年より若干減少した（図表2）。

以上

本件に関するお問い合わせ先
 とうほう地域総合研究所 担当：佐山
 TEL 024-523-3171